

兵庫県三木市 スポーツリゾートハブ構想(仮称)











背景

現状の 課題

事業の 目的

これまて の取組

事業内容

兵庫県三木市は、兵庫県立総合防災公園、三木総合運動公園、三木山森林公園などの施設に加え、アジアトップクラスの質を誇る25か所のゴルフ場や、日本最大級の屋内テニスコート「ビーンズドーム」、国際大会が開催される馬事公苑を持つ三木ホースランドパークなどが立地しています。また、大阪や神戸などの都市部まで車で1時間程度でアクセスできる自然豊かなベッドタウンとして発展してきました。

時代の変化により、若者の市外への転出による少子高齢化やライフスタイルの多様化が進み、人口減少が確実に進んでいます。

強みである「防災力、自然、スポーツ、農業、ものづくり」と「新たな生活様式」に対応する整備を進め、 三木市の特徴である『大工道具を中心とする金物産業・酒米の王者山田錦を中心とする農業・ゴルフ』を つなぐプラットフォームを構築し、公民連携による『遊び・働き・安心して暮らす』まちづくりの推進を めざしています。

- 平成29年度から地域資源をつなぐ<mark>体験型インバウンドゴルフツーリズム事業をスタート</mark>
- 令和2年度ゴルフのまち推進課を設置
- 令和3年3月全国高等学校・中学校春季ゴルフ大会開催
- 令和元年度から青山7丁目団地再耕プロジェクトによる「SDGs 11住み続けられるまちづくり」に着手

新たな働き方や暮らし方を応援するため、市内にローカルIT環境を整備し、どこでも働ける環境(スマート農業、防災、健康長寿、子育て等のプラットフォームに活用)をつくり、大自然の中でゴルフやテニスなどのスポーツを楽しみながら豊かな人生を送ることができる「スポーツリゾートハブ構想」を検討しています。また、新たな企業誘致では、廃校利活用や空き家を活用したサテライトオフィスの設置に加え、利用(シェアリングとサブスクリプション)しやすい仕組みを公民連携により構築します。





兵庫県三木市 スポーツリゾートハブ構想(仮称)











得られる 成果等

【目標値】 ・サラライ

- サテライトオフィス使用事業者 6社(2025年)
- 三木市への移住者 200人(2025年)

【効果】

地域資源を活用したバリューチェーンが構築され、いつまでも元気に豊かな人生を送る人が増える。 また、このまちに更なる活気や誇りが生まれ、安全 安心なまちの中で豊かさという新たな価値が生まれる。



三木市

企業に求めるもの(連携イメージ)

- ・事業の協働パートナー
- ・事業展開のための経済支援

















企業のメリット

- ・社会貢献企業としてのPR
- ・民間事業者が持っている資源等の新たな事業の展開
- SDGsの取組を通じた企業価値の向上

連絡先

兵庫県三木市

総合政策部 縁結び課 地方創生係 清水・村上

Tel: 0794-82-2000 (代表)
□: emmusubi@city.miki.lq.jp

寄附に よる メリット など